

天下の奇祭
—おうみはちまん—

国選択無形民俗文化財

左義長まつり



A Wondrous Event

Omihachiman SAGICHO FESTIVAL

National Selected Intangible Folk Cultural Properties

近江八幡左義長保存会

Omihachiman SAGICHO preservation group

2021.03.(4)

左義長まつり

(例年3月14日・15日に近江・土・日曜日に開催)

近江八幡は織田信長ときと豊臣秀次が八幡山城を築き、それにつれて安土から移住した人々を中心に開かれた町です。それゆえこの左義長まつりのルーツも安土にあり、「信長公記」には毎年正月に安土城下にて左義長まつりが盛大に繰り広げられ、信長自身も異粧華美な姿で躍り出たと記されています。

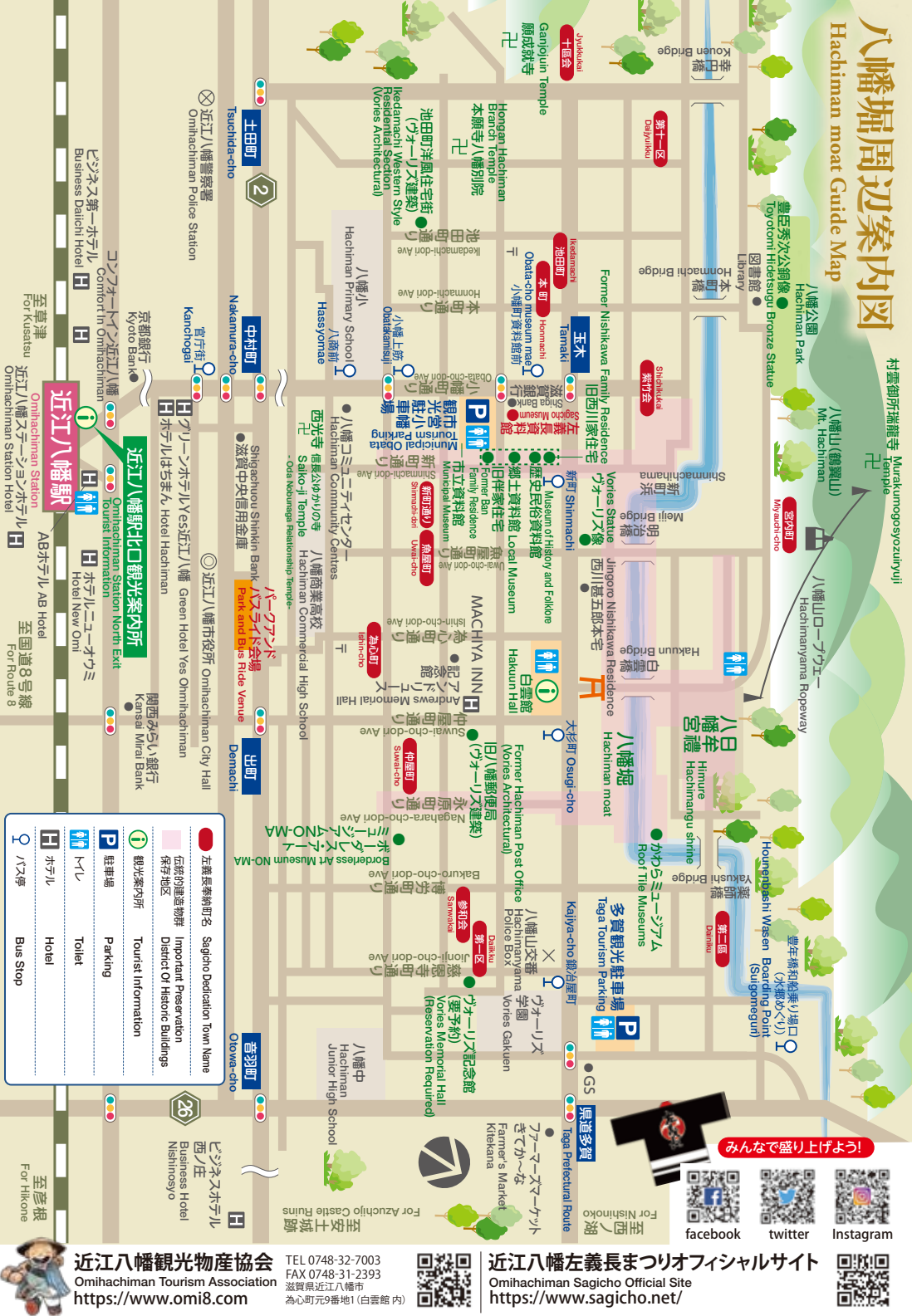
町民は、旧年豊八幡宮例祭「八幡まつり」の荘厳さに驚き、開町による新進気鋭の喜びを込め、火除け、厄除けの由緒あるご神徳を仰ぎ、左義長を入幡宮に奉納したと伝えられています。



近江八幡左義長まつり おとうみはちまん

八幡堀周辺案内図

Hachiman moat Guide Map



近江八幡観光物産協会
Omihachiman Tourism Association
https://www.omi8.com

近江八幡左義長まつり公式サイト
Omihachiman Sagicho Official Site
https://www.sagicho.net/

With the construction of the Hachimanyama Castle by Toyotomi Hidetsugu after Oda Nobunaga passed away, Omihachiman, was established as a town mainly by people who moved from Azuchi. Therefore, the Sagicho Festival has roots in Azuchi. It is written in the Shincho Koki (Chronicle of Oda Nobunaga himself ga) that the Sagicho Festival was a major event held every New Years at the Azuchi Castle and Nobunaga himself took part in the dancing in a glamorous manner.

It is said that the town people were surprised at the brilliance of the Hachiman Shrine filled with their newly found joy of Shinto so they dedicated Sagicho floats in honor of the Hachiman Shrine and prevent disasters.

establishing the town to pray to the gods to ward off evil spirits and prevent disasters.

Sagicho Festival to recognize Spring in Kokoku SAGICHO FESTIVAL





担ぎ棒を通した大松明に取付けられた「ダシ」は、その年の干支を題材に各奉納町が趣向を凝らして作り上げます。「ダシ」はその全てが小豆や大豆などの穀類、スルメや昆布などの乾物といった食材を使って作り上げられるのも大きな特徴で、素材や色合いを活かすなど創意工夫をし、各奉納町ともに正月明けから2〜3ヶ月の期間を要して経費や手間を惜しまず、祭礼初日に執り行われる「ダシコンクール」の優勝を目指して丹精込めて作り上げます。



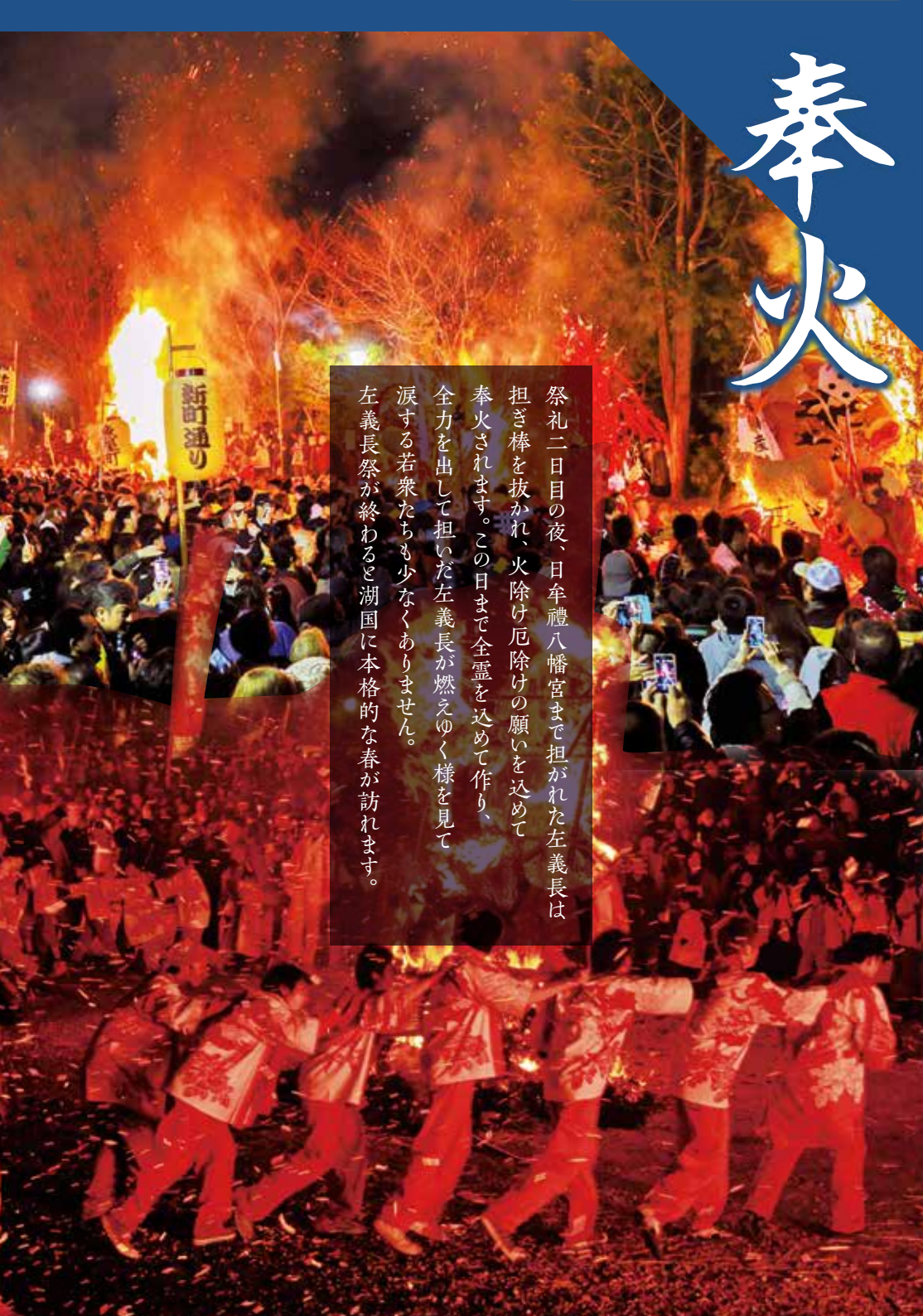
ダシ



祭礼初日、華やかに飾り立てられて日牟禮八幡宮に集った各奉納町13基の左義長は、この日を晴れの舞台と待ちわびた若衆たちに担がれ「チョウヤレ」の掛け声も勇ましく旧城下町を練り歩いて渡御を行います。



渡御



奉火

祭礼二日目の夜、日牟禮八幡宮まで担がれた左義長は担ぎ棒を抜かれ、火除け厄除けの願いを込めて奉火されます。この日まで全霊を込めて作り、全力を出して担いだ左義長が燃えゆく様を見て涙する若衆たちも少なくありません。左義長祭が終わると湖国に本格的な春が訪れます。



祭礼二日目は左義長同士をぶつけ合う通称「ケンカ」が日牟禮八幡宮の内外で繰り広げられます。老いも若きもが自分たちの町内の威信と誇りをかけ、相手の左義長に負けないよう力の限りに左義長を押す「ケンカ」は左義長祭の華でもあります。

ケンカ